



識学

SHIKIGAKU

MANAGE TECH COMPANY

数値化の鬼

識学代表が数字による管理・思考方法を解説

株式会社識学 代表取締役社長

安藤 広大

1章

識学と安藤広大の自己紹介

1章 識学と安藤広大の自己紹介

株式会社識学

マネジメント理論「識学」の発展と普及を目指して設立されました。

本社

東京都品川区大崎2-9-3
大崎ウエストシティビル1階

支店

大阪支店・名古屋支店
福岡支店
福島営業所

設立

2015年3月



識学

SHIKIGAKU

MANAGE TECH COMPANY

1章 識学と安藤広大の自己紹介

株式会社識学

マネジメント理論「識学」の発展と普及を目指して設立されました。

事業内容

- 「識学」を使った経営、組織コンサルティング
- 「識学」を使った従業員向け研修
- 「識学」をベースとしたwebサービスの開発、提供
- 「識学」関連書籍の出版



識学

SHIKIGAKU

MANAGE TECH COMPANY

1章 識学と安藤広大の自己紹介

代表取締役社長
安藤 広大

1979年

大阪府生まれ

2002年

早稲田大学卒業・株式会社NTTドコモ入社

2006年

ジェイコムホールディングス株式会社（現ライク株式会社）入社

同社主要子会社のジェイコム株式会社（現ライクスタッフィング株式会社）にて
取締役営業副本部長などを歴任

2013年

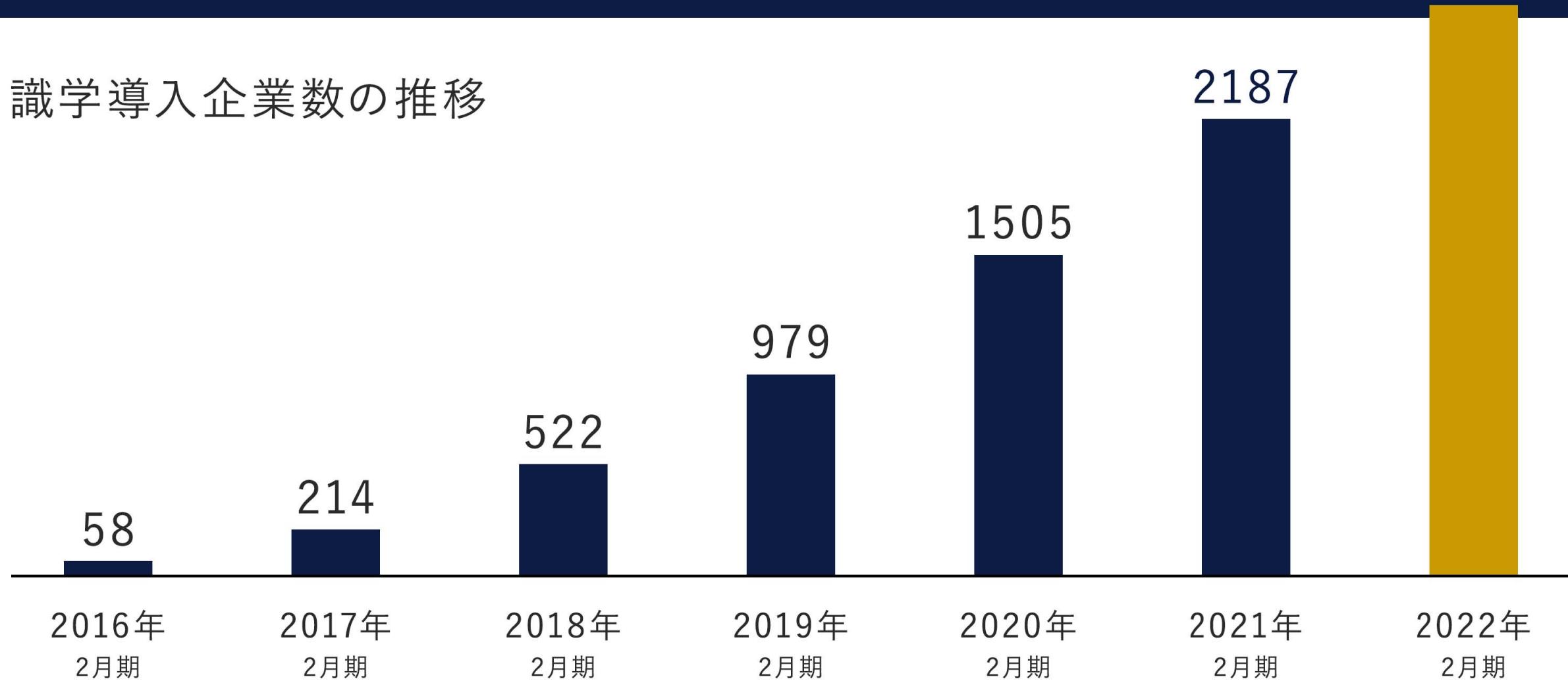
マネジメント理論「識学」と出会い独立。



1章 識学と安藤広大の自己紹介

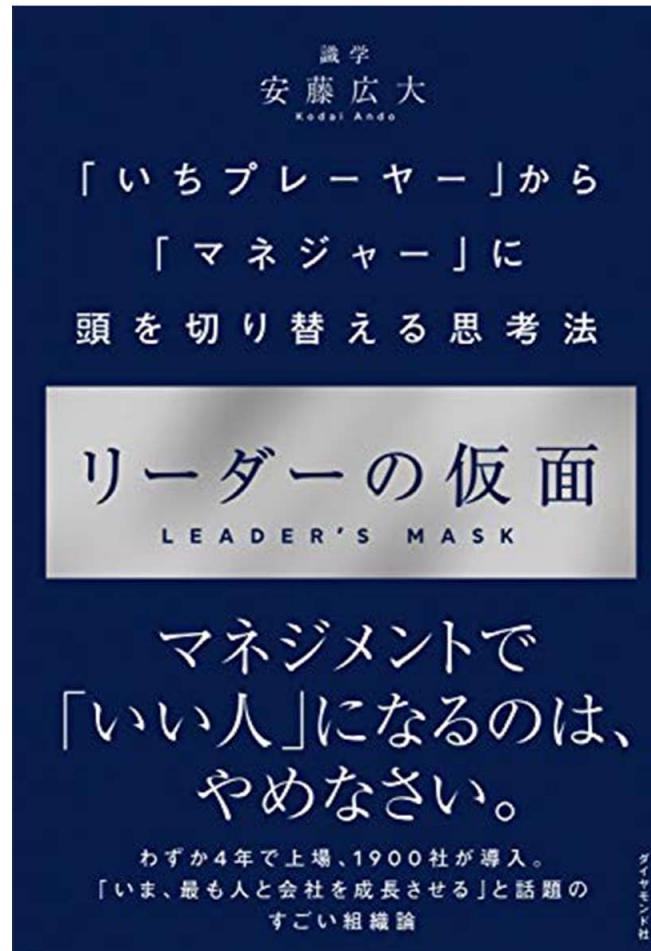
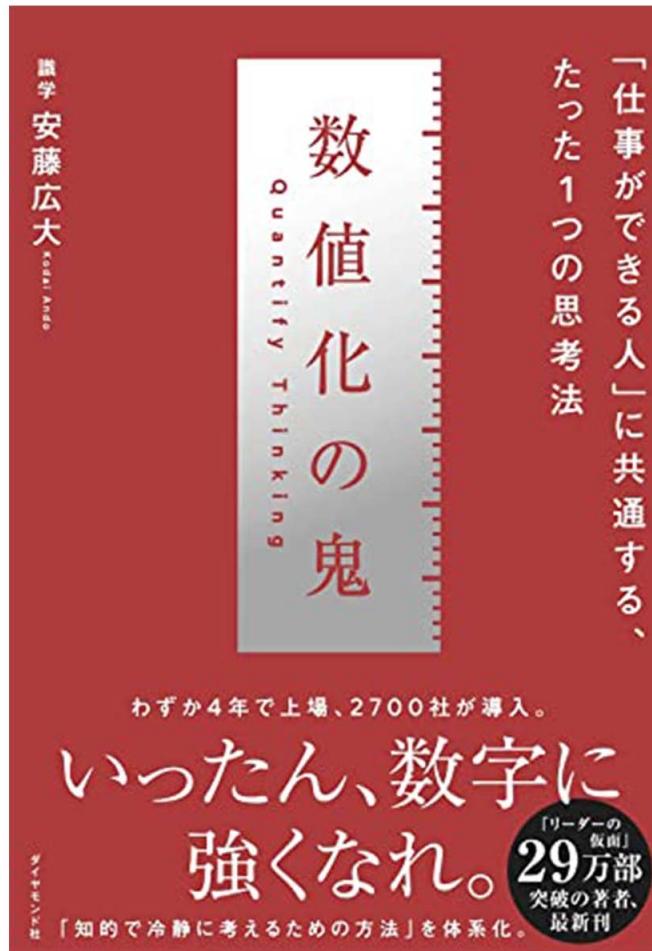
2700

識学導入企業数の推移



1章 識学と安藤広大の自己紹介

安藤著の識学関連書籍



2章

数値化の重要性

2章 数値化の重要性

なぜ数値化するのか

理由1 上司と部下の間に認識のズレを生まないため

理由2 行動量を最大化するため

- 成果が上がる
- 確率が上がる
- PDCAのペースが上がる
- 業績が安定する

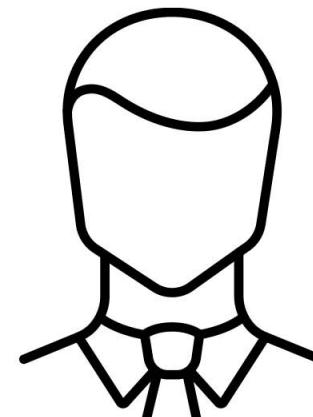
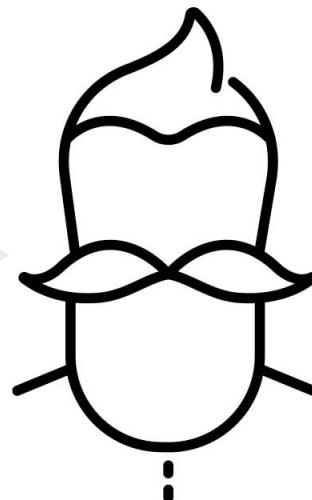
※行動量が常に最大化されていないと行動量が多い時・少ない時が生まれ
業績が上下するという意味

2章 数値化の重要性

行動量の最大化を阻害する要因

要因1 明確でない

今四半期は
君の**主体性**を
5段階評価するよ

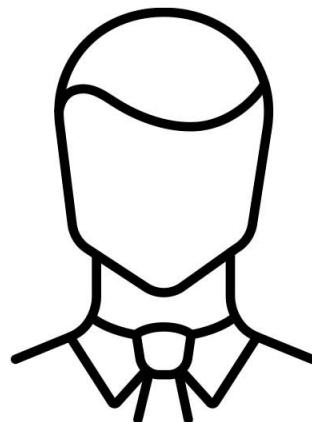


どうすれば
主体的だったと
認めてもらえる
だろう…?

2章 数値化の重要性

行動量の最大化を阻害する要因

要因2 確率に視点がいっている

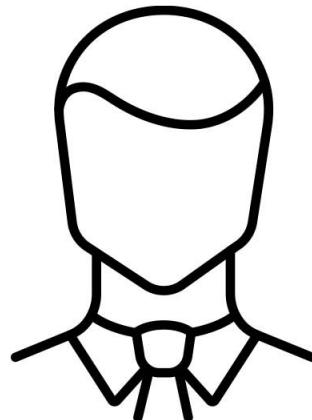


少ない行動量で
高い成果が上げられれば
楽に評価を得られるぞ

2章 数値化の重要性

行動量の最大化を阻害する要因

要因3 失敗したくない

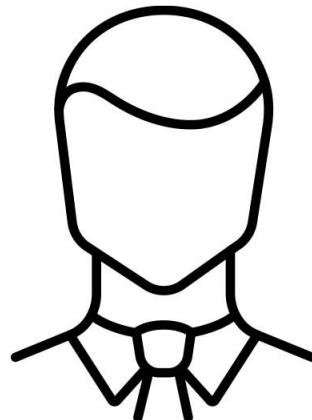


ミスをして怒られたくない
できるだけ失敗しないよう
1つ1つの行動を慎重に…

2章 数値化の重要性

行動量の最大化を阻害する要因

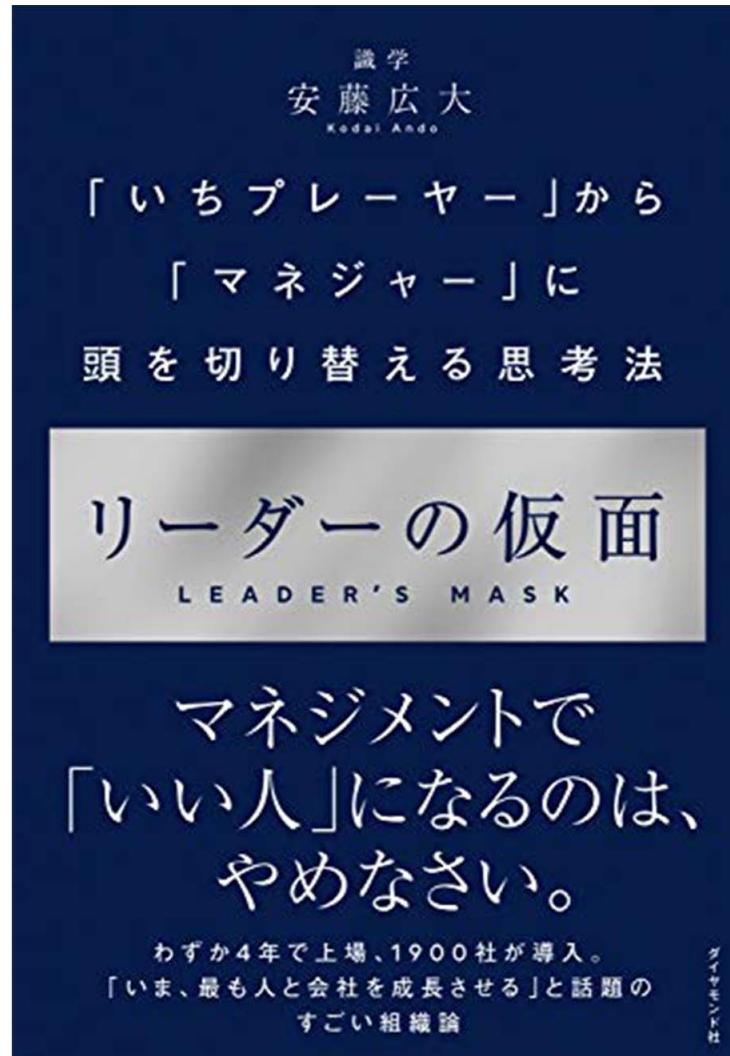
要因4 上司の言うことが納得できない



上司の指示は間違っている
信頼できない
従いたくない

この要因に限っては数値化以前の**位置**の問題である

2章 数値化の重要性



位置認識に課題を感じる場合は
「数値化の鬼」の前著
「リーダーの仮面」を
お勧めします。

3章

変数と定数

3章 変数と定数

変数と定数とは

例 大事なプレゼンに臨む時



プレゼン資料の完成度を上げた



結果はあまりかわらなかった

資料の完成度は変数ではない



最初の10秒で結論を述べてみた



成功回数が上がった

「伝え方」が変数だった

3章 変数と定数

部下に定数を変数と勘違いさせるマネジメントをしてはいけない

確かにそうだよな
気持ちわかるよ…



- ・景気が悪くて…
- ・競合が強くて…
- ・商材が弱くて…

部下は不足を感じられず成長できない

3章 変数と定数

勘違いさせないためのマネジメント

- 付き合わない
- 競走環境
- 意識できる点を絞り込み、無駄な部分を考えさせない

 真の変数を見つけるということ
(最も効果的なKPIを追わせる)

3章 変数と定数

その瞬間に追っている数字はできるだけ少ない方がよい

社長に課された『売上』に
コミットしよう。
どうすればできるだろう？



優れた経営者

真の変数を絞り込み
部下を集中させる

売上はもちろん
紹介数も
セミナー集客も
個人売上も
成功させなきゃ！



ダメな経営者

多くの数字を追わせ
部下を迷わせる

3章 変数と定数

真の変数を見つけ出すためにも **行動量** が必要である